

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	胸腔鏡下胸膜生検におけるクライオバイオプシーの有用性と安全性についての検討
研究責任者	呼吸器内科 出雲 雄大
研究機関名	日本赤十字社医療センター呼吸器内科、病理部
研究目的と意義	当センターで、2008年1月～2019年4月に局所麻酔下胸腔鏡下胸膜生検がなされた症例について、検査手技内容や症例背景と診断結果について後ろ向きに検討します。
研究期間	2019年 5月 承認日 ～ 2020年 4月 30日
研究方法	<p>&lt;研究デザイン&gt;</p> <p>本研究は後ろ向き研究であり、すでに検査がおこなわれている症例のカルテ閲覧により、検査内容および診断結果について検討するものです。本研究は疫学指針の対象とします。</p> <p>&lt;方法&gt;</p> <p>2008年1月～2019年4月に局所麻酔下胸腔鏡下胸膜生検がなされた症例について、電子カルテ閲覧により、検査手技、症例背景と診断結果を調べ、その有効性と安全性について検討します。</p> <p>主な評価項目は以下の通りです。</p> <p>性別、年齢、胸部画像所見、胸腔鏡検査時使用デバイス、麻酔法、検査時間、合併症、細胞・組織診断結果、組織採取個数、組織採取サイズ（スコア化）、cryobiopsyの施行有無</p> <p>この方法は後ろ向き観察研究という方法で、新たに患者様への負担はかかりません。匿名化とって個人名を消去し、代わりに番号などを付与して処理を行うことで、誰のデータか分からないようにして、統計解析を行います。その結果は、呼吸器病に関する学会や医学雑誌に公表されることがあります。</p> <p>研究に組み入れられることを希望されない方は、担当医や下記の問い合わせ先にお知らせください。その場合、データ収集や統計解析は致しません。希望されない場合でも、患者さまに不利益になることはございません。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター呼吸器内科</p> <p>〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22</p> <p>担当者：久世眞之、出雲雄大</p> <p>TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604</p>